

公益社団法人 私立大学情報教育協会

2021 年度第 1 回

経営学・経済学・会計学・心理学・数学・機械工学・経営工学・建築学・電気通信工学・土木工学
・物理学・化学・生物学・被服学・美術デザイン学関係学グループ関係学グループ
分野連携合同会議議事概要

I. 日時 : 令和3年9月14日(火) 17:00~19:00

II. 場所 : ZOOM 会議室

III. 出席者

(経営学) 伊藤委員・奥村委員、(経済学) 児島委員長・碓井委員・渡邊委員・中嶋委員・山崎委員・林アドバイザー、(会計学) 岸田委員長・松本委員・阿部委員・河崎委員・金川委員・福浦委員・木本委員、(心理学) 木村委員長・片受委員、(被服学) 阿部委員長、(物理学) 寺田委員長・穴田委員・満田委員・徐委員、(化学) 小林委員長・幅田委員・庄野委員・武岡委員、(機械工学) 角田委員長・田辺委員・青木委員・高野委員、(建築学) 柳沢委員・澤田委員、(経営工学) 井上委員長・後藤委員・高野委員、(情報専門教育分科会) 大原アドバイザー、(データサイエンス教育分科会) 渡辺美智子アドバイザー
事務局: 井端事務局長、坂下、中村

IV. 議事の経過

角田担当理事の挨拶、10 分野及び情報教育委員会の出席委員の紹介の後、角田総括委員長が議長となり、以下の通り、議事を進めた。

(1) 報告事項

1. 対話集会に向けた準備について

事務局より、資料①の「分野連携対話集会の開催方法・開催時期等について(メモ)」に基き、オンライン方式によらざるを得ない状況にあることの報告が行われ確認・決定をした後、開催日を12月25日(土)、配信会場をアルカディア市ヶ谷(私学会館)とし、参加申込者には対話集会の録画映像を終了後、3日間配信することが確認された。

2. 分野連携対話集会の進め方について

オンライン開催による対話集会の進め方及び対話集会の開催趣旨等について、資料③「分野連携対話集会の開催趣旨・対話集会のねらい等について(メモ)」及び、資料②「分野連携対話集会のオンライン開催による場合の進め方について(メモ)」、資料⑤「分野連携対話集会の意見交流の時間配分と議論の進め方について(メモ)」に基づき事務局から説明が行われ、質疑、意見交流を行い、次のように方針を確認した。

① 対話集会の開催趣旨は、大学では対面授業と遠隔授業の長所を組み合わせたハイブリッドな授業・学修がニューノーマルな教育として進展しつつあり、学修者本位による教育への転換が加速すると考えられる。対面による学びと、時間・場所を越えたサイバー上の仮想空間の学びを組み合わせることによる高度な学びを最適化する上で必須のパラダイムシフトが考えられる。学生が主体的に問題発見・解決に関与し、価値創造につないでいくように支援することが教育のデジタルトランスフォーメーション(DX)であり、思考・判断を訓練する場を如何にデザインして学生に提供できるかを探求し、改革行動につなげていく場とする。

② 対話集会のねらいは、以下の4点とした。

- ・ 地域社会や国連の持続可能な開発目標 (SDGs) などをテーマにした遠隔授業と対面授業を組み合わせた効果的な PBL 授業の工夫と課題、戦略についての研究
- ・ ネット上で多分野の知識を組み合わせ、知の創造を訓練する授業モデルの可能性の研究
- ・ ハイブリッドな PBL 学修環境としてのプラットフォームに必要な機能と運営支援体制の条件についての整理
- ・ ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想のニーズを確認し、学生に点検評価の結果をフィードバックする仕組みの実現可能性についての研究

- ③ 話題提供は、以下のような視点から実践事例や教育改善提案を行うこととした。
- * 遠隔授業（オンデマンド型、同時双方向型）導入の効果と課題、学修評価方法の紹介
 - * 対面授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型授業の紹介
 - * 仮想空間と現実空間を組み合わせた授業モデルの収集
 - * ICTを活用したアクティブラーニング（PBL含む）の実施方法と効果・課題、又は授業モデル提案

事前に作成した各分野から話題提供案について説明が行われ、候補の選定を行った結果、経済学、会計学、経営工学、建築学、機械工学、土木工学分野の6件を話題提供とし、次回の合同会議までに話題提供のテーマと概要について、参加者が興味・関心を持っていただけるよう見直し、改めて次回に再確認することにした。

- ④ 意見交流のテーマは、以下の4点の方向で検討を進めることの説明が行われ、次回に改めて検討することにした。
- * 遠隔授業と対面授業を組み合わせたPBL授業の工夫と課題
 - * 知の創造を目指す分野横断フォーラム型PBL実験の成果と課題次回
 - * PBL学修環境のプラットフォームに必要な機能と支援体制
 - * ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想の必要性・実現性など

また、意見交流を行うにあたって、参加者には以下のようなアンケートを求めることの説明が行われ、次回に改めて検討することにした。

- * PBL授業体験の有無
- * 遠隔と対面によるハイブリッド型授業のニーズ
- * ハイブリッド型PBL授業の高度化に向けた課題
- * 学内教員の連携体制と企業・自治体等を巻き込んだ授業環境の仕組み
- * 思考力等の点検・評価・助言モデルの参照ループリックなど

- ⑤ 次回の合同会議は、10月8日(金)17時30分にZoom会議にて開催し、開催要項の決定、話題提供、アンケート、役割分担などを検討することにした。